

Q1 在宅医療を行う上で課題と感じていること

在宅医療を受ける側(患者・家族)		
A 介護力		5
うち、	1 老々介護・認知介護	1 ・患者の病状を理解できない事がある。
	2 家族への負担	2 ・認知症の見守り ・看取り ・療養期間の長期化による負担
	3 放任	1 ・無関心
	4 在宅医療への理解不足	1 ・制度が複雑すぎる
	5 その他	
B 独居		
うち、	1 後見人	
	2 急変時等の対応	
	3 ヘルパー等の介入不足	
	4 事務手続き	
	5 見守り	
	6 医療以外の関与の必要性	
	7 その他	
C 経済的問題		1
D その他		2 ・家族が施設入所を希望する ・死生観の確認が難しい

Q1 在宅医療を行う上で課題と感じていること

在宅医療を提供する側			
E	24時間／緊急時対応	11	
	うち、		
	1 一人医師	3	
	2 夜間・休日	1	
	3 外来診療とのかけもち	3	
	4 年齢・体力	2	・独居対応は難しい
F	参入への壁		
	うち、		
	1 初期費用	1	
	2 器具／消耗品等の購入		
	3 診療報酬	1	・複数医師が関与する場合の在医総管の算定
G	提供する医療	5	
	うち、		
	1 患者数の増加		
	2 患者ニーズへの対応・高まり	3	・24時間対応の要望
	3 治療内容・検査の限界	2	・専門性の高い医療への対応が困難
H	診療科間の連携		
	うち、		
	1 機能強化型		
	2 他科		
	3 リハ		
	4 情報共有		
I	入院医療機関との連携	9	
	うち、		
	1 在宅移行		
	2 急変時・病状変化時の受入れ	8	・受入先を探すのが困難 ・独居患者の急変時の受入れ
	3 レスパイト入院		
	4 退院時の連携		
	5 看取り	1	
	6 その他		

Q1 在宅医療を行う上で課題と感じていること

在宅医療を提供する側(続き)		
J 介護事業者との連携		7
うち、		
1 訪問看護ST		1
2 ケアマネ		4
3 その他		2
		・介護が過剰に入りすぎており、医療保険で必要なサービスが入れられない
		・介護事業者と連携を取っている医療機関に今までの関係を壊されてしまう
K その他		
制度的な問題		
L 施設等の不足		
M 駐禁		
N その他		
その他		

Q2 入院医療機関に対して望むこと

患者の受入れ		
A 受入れを望む患者像・状態		
1 急変時	7	・急変時の確実な受入れ ・後方病床を確保して欲しい
2 独居	1	・公的医療機関で確実に受入れて欲しい
3 複数疾患を抱えている患者	1	・短期間の入院であっても断られてしまうケースがある
4 認知症	1	
5 精神疾患		
6 短期入院	1	
7 検査入院		
8 レスパイト		
9 状態悪化等で在宅医療が継続困難な場合(長期療養)	3	・医療対応が出来る慢性期機能の病院への受入れ ・認知症にも対応してくれる医療機関 ・入院か在宅かを患者が選択できるようにして欲しい
10 看取り	1	・緩和ケア病棟以外でも受け入れて欲しい
11 感染症		
B 受入れ手続き		
C 入院受入れ・医療機関の情報		
	1	
在宅医と病院の連携		
A 在宅移行支援	1	・患者の視点に立った転退院をお願いしたい
B 地域連携の推進		
C 逆紹介の希望		
在宅医療への理解		
その他入院医療に求めること		

Q3 行政(区市町村・都)に対して望むこと

在宅患者の療養生活を支える関係者への支援・働きかけ		
A 医療と介護の連携		
B 24時間安心して療養できる体制の構築	2	
C 人材の確保・育成	1	・高齢者医療への理解向上
D その他		
患者・家族に対する支援・働きかけ		
A 高齢者(独居や認知症など)へのサポート	1	
B 経済的負担に対する支援		
C 普及啓発		
1 制度・サービス		
2 在宅医療について		
3 かかりつけ医	1	・患者にあった医師を紹介できるシステムがあるとよい
D 小児在宅(のコーディネーター)		
E 相談窓口		
行政自身に望むこと		
A 適切な介護認定		
B 高齢者施設の確保	1	・経済的負担が少ない施設の整備
C 在宅医療への移行を適切に推進		
D その他	3	・要介護者の把握と介入 ・住環境の整備 ・在宅医療の質を含めた評価
その他		